

PoMA オープンアトリエ

やすらぎの杜・PoMAではどなたでも参加できる参加型イベント《オープンアトリエ》を年に7～8回 第1土曜日に開催しています。新型コロナウイルスが流行し始めた2019年までは施設内の利用者さん向けに開催していたアトリエ活動ですが、パンデミックを受け活動を休止。2024年4月に再開したアトリエは《誰でも参加できるオープン型アトリエ》と活動を変化させました。その理由は地域や一般の皆さんにPoMAのアート活動を通して楽しく、ポジティブに福祉について知っていただきたいから。障がい者施設は地域社会の中に存在し、障がいを持つ皆さんは地域社会の中で暮らしています。障がいや福祉について地域や一般の皆さんに楽しく、ポジティブに知っていただければ、障がいを持つ皆さんは更に地域社会で生活しやすくなるのではないかと。私たちPoMAスタッフがアート作品や、それに付随するメンバーの楽しい、素晴らしい一面を世の中にどんどん発信していくことで福祉に関心や親しみを持っていただける機会にできるのではないかと。そんな気持ちから《オープンアトリエ》を開催しています。

これまでのオープンアトリエには福祉関係者、福祉には関りのない方、PoMAを知っている方などなど、たくさんの方にご参加いただいています。メンバーたちが《たのしく、自由に、のびのびと》活動している様子、そこから生まれる作品や物語を楽しまれている様子を見ると私たちスタッフもとてもうれしい気持ちになります。《オープンアトリエ》は今後も開催して参りますので皆さまぜひ！遊びにいらしてください！
PoMAスタッフ：皆川



オープンアトリエの様子



思い思いに絵を描くPoMAメンバー



フランスからもお客様がいらっしゃいました！



興味深くご覧になる見学者の皆さん

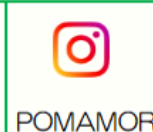
今後のオープンアトリエスケジュール

2026年 8月1日(土)
9月5日(土)
10月3日(土)
12月5日(土)
1月9日(土)
2月6日(土)

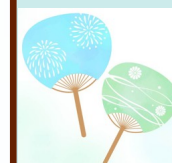
時間: 9:30～11:30 / 13:30～15:00

《ご予約はお電話にて》
やすらぎの杜 ☎03-3928-3315
(担当: 皆川、小林、黒川)

〈法人理念〉
あらゆる人に
生きる夢と勇気と希望を提供する



第53号
発行日
令和8年
8月15日



発行者/
草佑会
やすらぎの杜
練馬区関町北
5-7-10

杜の便い

経験という「量」が生み出す質と それを支える「働きやすい環境」を目指して

平素よりやすらぎの杜の運営に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

冒頭に配させていただきましたが、このたび発生いたしました「令和8年熊本地震」によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。厳しい情勢の中で避難生活を送られている皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

当たり前の日常がどれほど尊いものであるかを痛感させられる中、私ども「やすらぎの杜」が障害をもつ方々の安心と安全を守る拠点であること、そして地域の拠点の一つであることの責任を、あらためて強く噛み締めております。

さて、今年はサッカーワールドカップが開催され、日本代表の活躍はもちろん、世界最高峰の熱戦に胸を躍らせた方も多かったのではないのでしょうか。世界のトップで戦う選手たちの洗練されたプレーを目にし、私たちが携わる「福祉」の現場にも通じる大切な教訓を感じずにはいられませんでした。

元日本代表の本田圭佑氏は、効率や時短ばかりが求められがちな現代に対し、「量をこなしていないやつに質(効率)を語る権利はない」「一定の量をやらないと、何が効率よくて何がよくないのかすら分からない」という一貫した持論を発信しています。

スポーツでも福祉でも、最初から要領の良さだけを追っても本当の力は身につかないと考えます。日々利用者様と向き合い、多くの経験(=量)を重ねる中で自分の限界や真のニーズを知り、初めて「本当に必要な配慮」や「効率的なケア(=質)」が見えてくるのだと感じます。

「やすらぎの杜」の人材育成では、職員が多くの経験を積み、確かな技術と心を育める「学びの土台」を何より大切にしております。特に常勤職員については、採用後3年間、定期的に業務理解の進捗を確認する機会を設定しています。採用直後は一定期間研修日誌を記録し、支援の手順や利用者様への必要な配慮などをしっかり理解できるよう、体制を整えています。

しかしながら、昨今の深刻な少子高齢化や労働環境の変化に伴い、福祉業界全体で深刻な人材不足が続いております。その厳しい波は当「やすらぎの杜」にも押し寄せており、これまで通りの支援体制を維持することが困難となりつつあります。

だからこそ私たちは今、人材育成の強化と同時に、「職員が安心して長く働き続けられる環境づくり」に取り組んでまいります。

業務の簡素化やICTの導入によって無駄な負担を減らす一方で、削減してはならない「利用者様と向き合う時間」と「心のゆとり」をしっかりと守る。職員自身の健康と笑顔があつてこそ、真に質の高い支援を提供できると信じているからです。

大変厳しい状況下ではございますが、職員一丸となってこの荒波を乗り越え、

「しっかり経験を積み、質の高い支援を提供する」

「無理なく笑顔で働き続けられる環境を守る」

この両輪を回しながら、利用者様・保護者の皆様や地域に愛され、職員にとっても誇れる施設であり続けるよう努めてまいります。

皆様にはご心配とご不便をおかけすることもあるかと存じますが、何卒現状をご理解いただき、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

施設長 佐藤 広純

通所部一泊旅行

in 千葉県
房総半島



2026年4月27日～28日、2020年より中止となっていた一泊旅行が復活いたしました！
行先は千葉県房総半島にある『マザー牧場&鴨川シーワールド&ホテル三日月』久しぶりの一泊旅行とあって楽しみ半分、緊張半分で当日を迎えました。そしていざ出発の時…、嵐か！？というほどの強風、大雨に見舞われバスに乗り込みましたが休憩場所「海ほたる」に到着する頃、空には青空が！その後は雨に降られることもなく2日間満喫することが出来ました。海辺に建つ「ホテル三日月」では、何度も大きなお風呂に入ったり、豪華な海の幸を満喫したり、カラオケ大会でハッスルしたり、興奮のあまりなかなか眠れなかったりと、一泊しないと味わえない貴重な経験を楽しむことが出来た2日間でした！
担当：皆川



入所部日帰り旅行

3階フロア



令和8年5月12日、夢の国「東京ディズニーランド」へ出掛けました！入所メンバーで行くのは、なんと約21年ぶり。行き先発表日はみなさん大喜びされ、当日まで楽しみにされていました。当日は天候にも恵まれ、8グループに分かれてアトラクションを堪能！普段食べることができない料理やスイーツを味わいました。そして旅行の定番といえば、お土産。カチューシャやシャツを身に着けて楽しむ方が多く見られました。みなさんに感想を尋ねると、「アトラクションが楽しかった」「いろいろなポップコーンが食べられてよかった」「お土産を買うことで素敵な思い出ができた」等…1年に1度の日帰り旅行に、大変満足された様子でした。

担当 荒巻・鈴木

2階フロア



令和8年5月18日 日帰り旅行にて“鉄道博物館”へ行ってきました。
館内には昔懐かしい車両から新幹線まで沢山の展示がされており、実際に車内を見学したり鉄道の歴史を学んだりしながら楽しい時間を過ごしました。
昼食時には、車両ステーションにある蒸気機関車が大迫力の汽笛を鳴らす実演イベントが開催され、汽笛の音に驚く方もいる一方で、新幹線をモチーフに作られた容器の駅弁に夢中の方がほとんど…（食に勝る物はありません）！
お土産コーナーでは、鉄道デザインのTシャツや鉄道キャラクターの人形、コップなど心ゆくまで様々なものを購入して、最後まで鉄道を身近に感じた1日になりました。
担当：村上